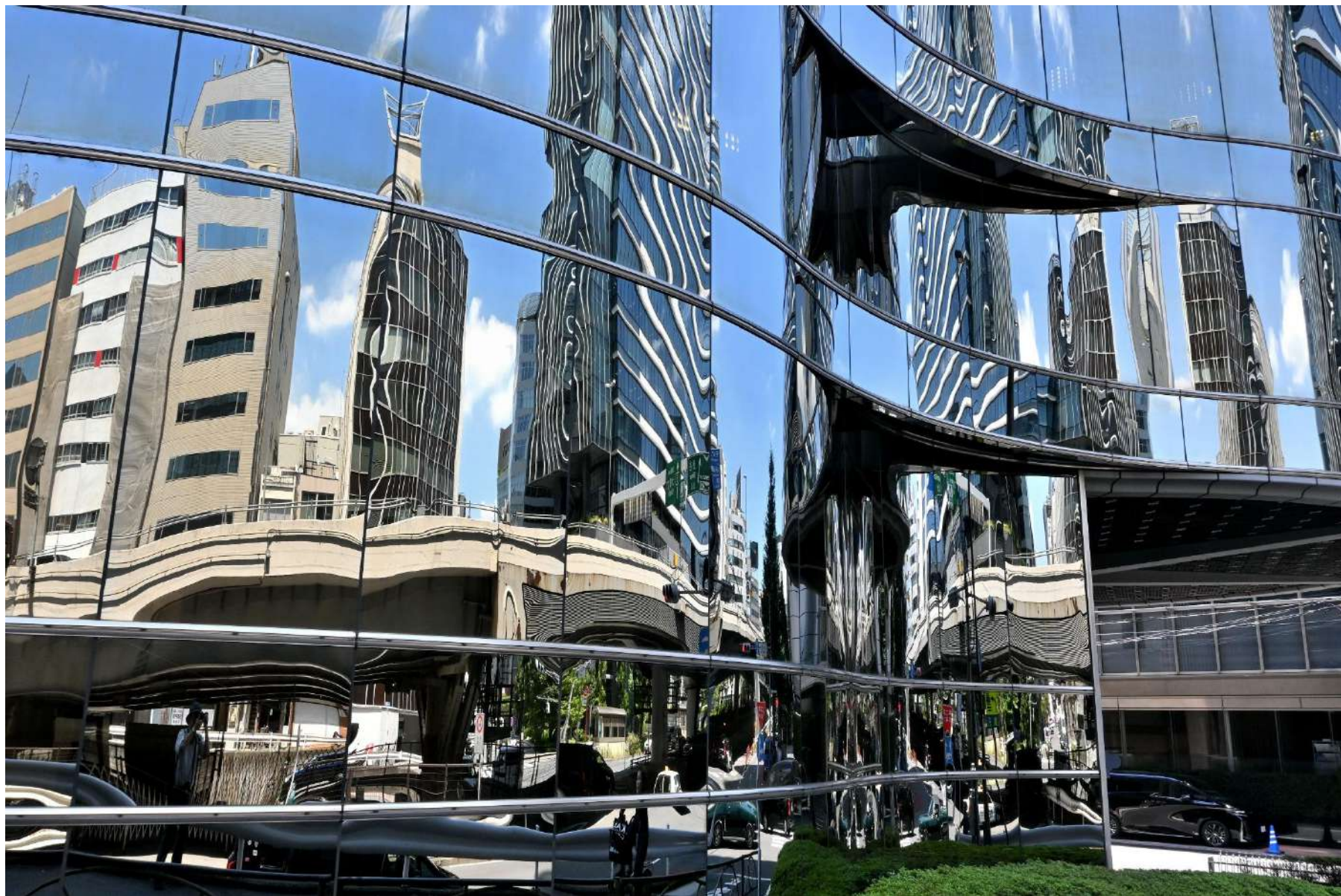


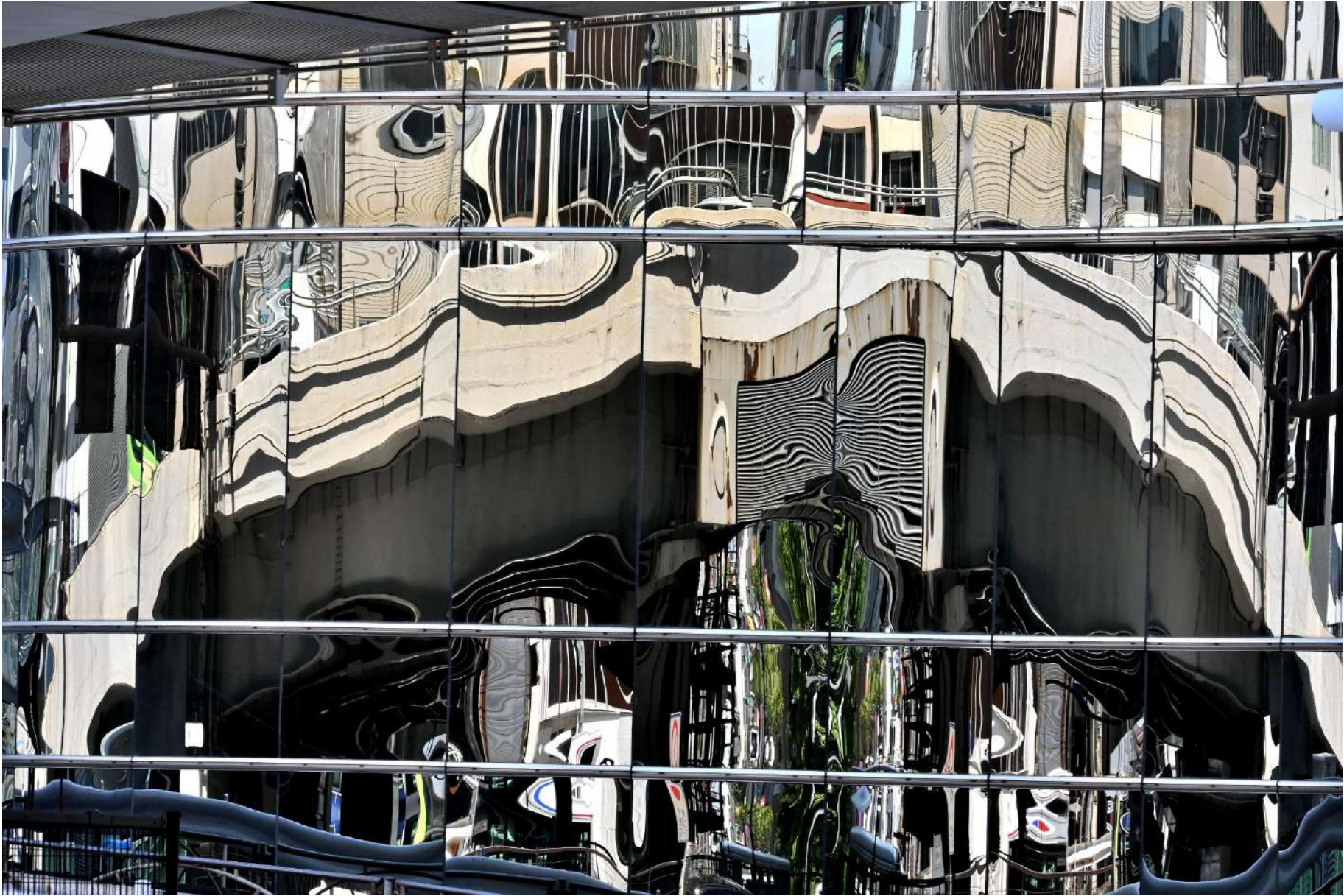
愚図愚図散歩145 日日是好日128

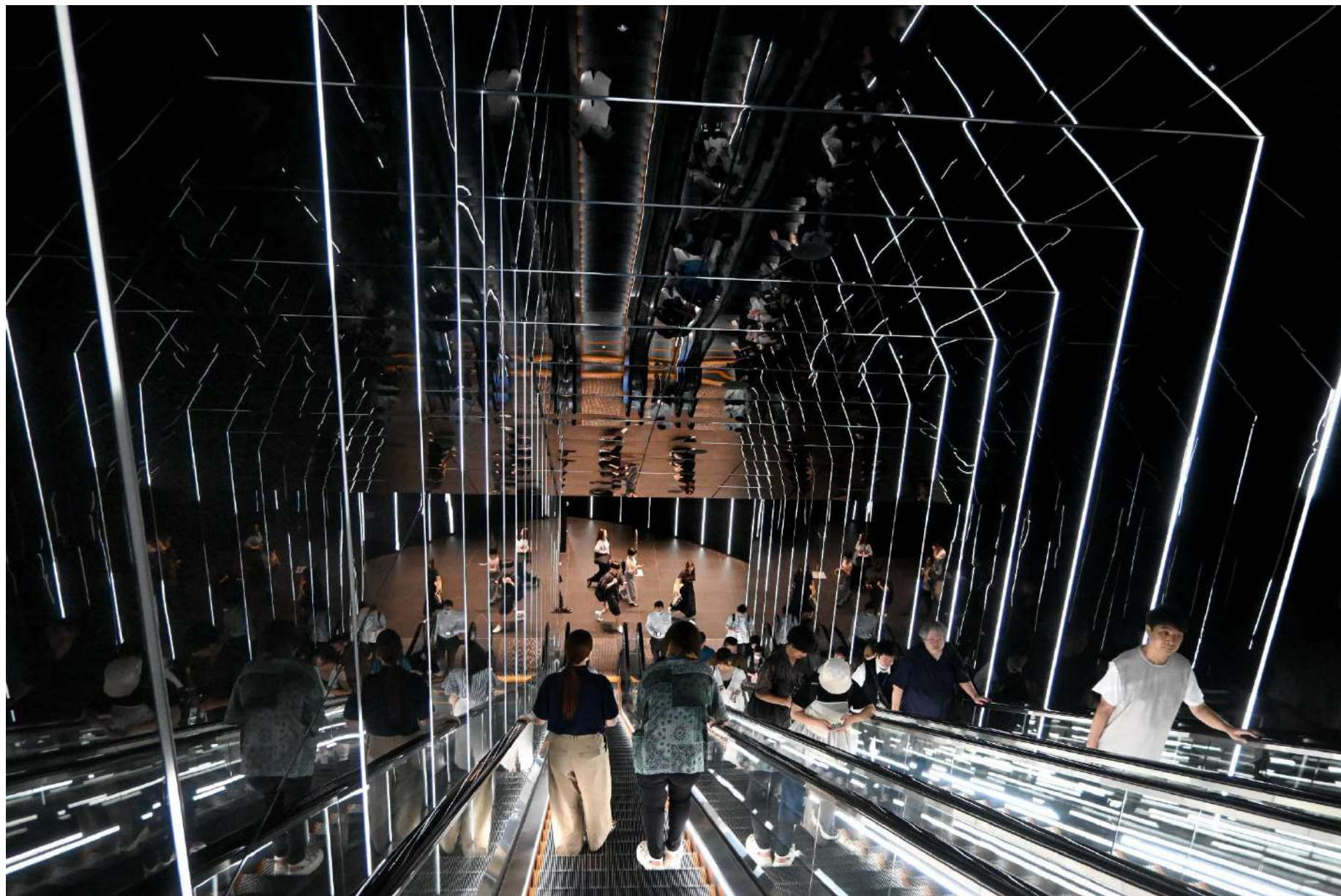
2025.09.01.

制作・撮影 浦野俊之



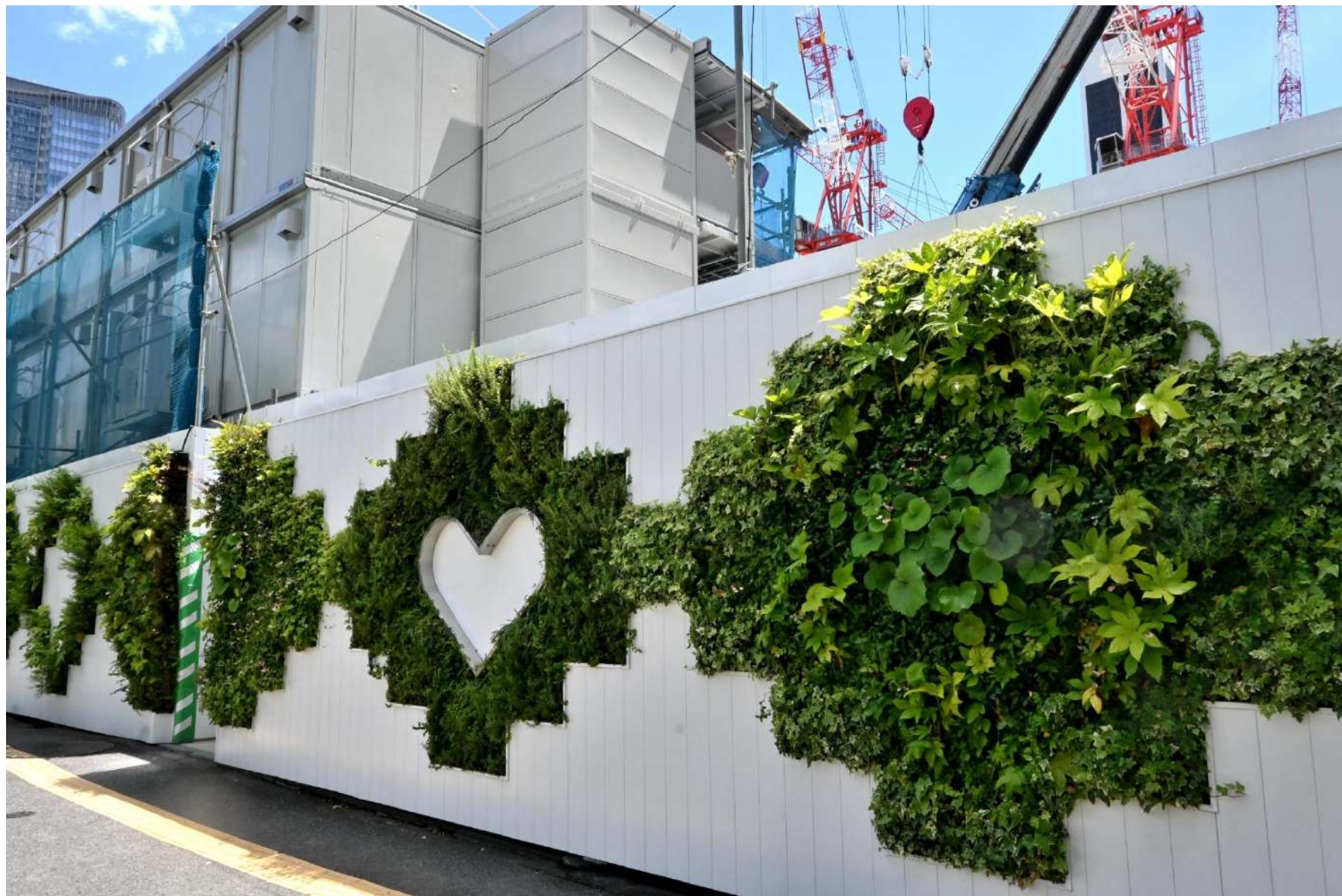
以前撮影した渋谷のNSW社のJMFビル渋谷を改めて撮影してみました。(渋谷区桜丘町31-15)



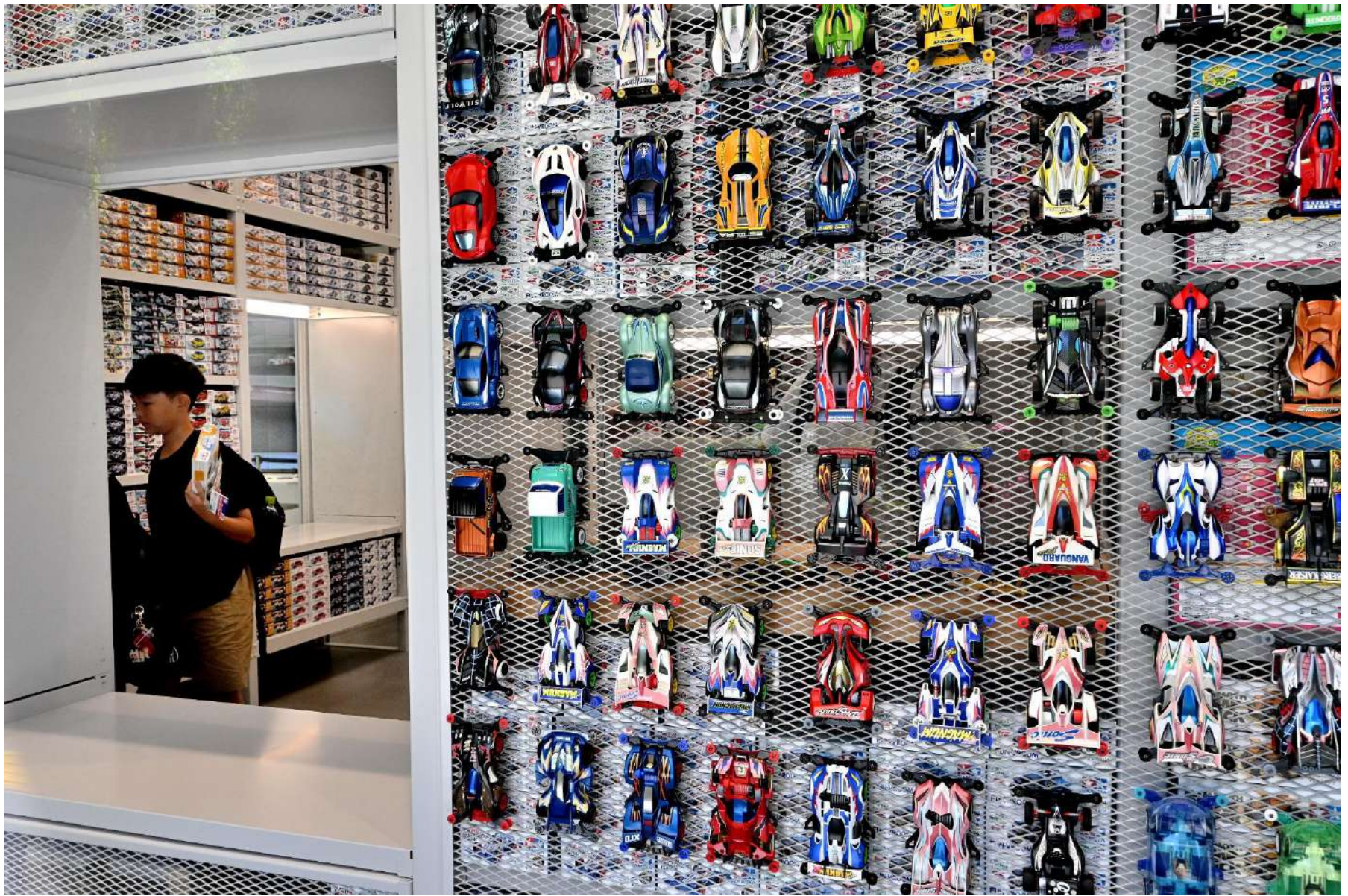


渋谷駅新南出口方面の矢印の指示に従って階段を下ろうとすると、夢の中のシャープな幻覚の視界に入り込んだような風景に出会いました。





建築中の仮囲いもこの様に手の込んだ装飾植物で飾られるようになりました。日比谷公園の向かいの環境に合わせての現場ですが、工事現場の仮囲いとは思えない見事なつくりです。(千代田区内幸町1-1-5 みずほ銀行工事中)



TAMIYAのショールームの展示、レーシングカーの模型が魅力的に飾られ心惹かれます。(港区新橋4-7)



緑の館（板橋区大山西町21）



何時もニコニコお神輿小屋(板橋区氷川町21-8)



佃小橋から石川島方向を望む、佃の船溜まり。



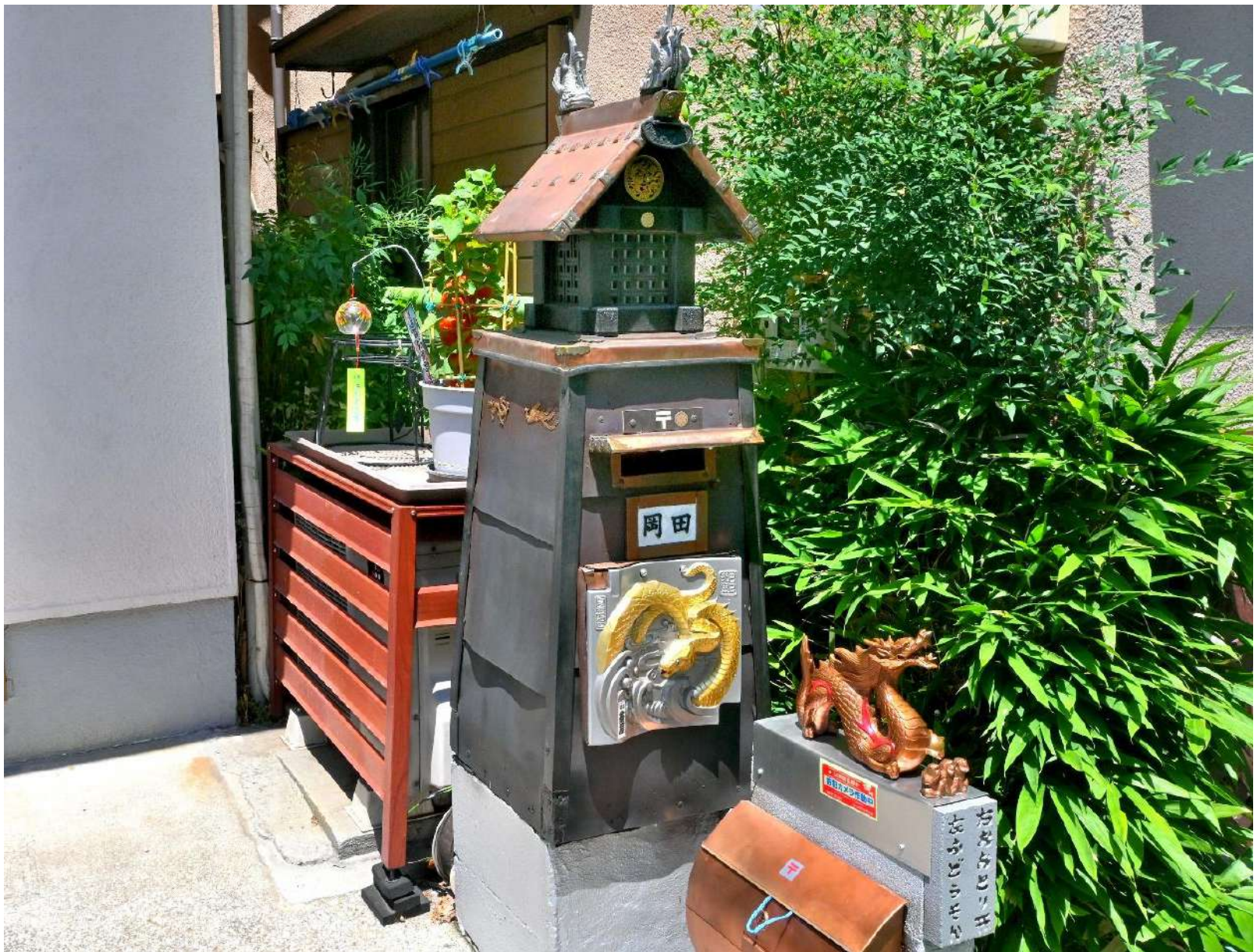
大正15年に創立した文武館 嶋村道場は、東京都北区神谷にある柔道道場です。その道場の庭に残る井戸跡。道場師範にお聞きしますと昔は実際に使われていたのですが、今は使って居ませんとのことでした。(北区神谷3-5-3)



道場の庭の一角に、石の壁に囲われてゾウガメが飼われていることに驚きました。



細い明り取りの様な窓とは言えない空間しかない家に出会いました。一階は駐車場スペースで、昔の家のイメージは全くありません。時代が変わったのでしょうか…。(目黒区下目黒4-3)



神社風のポスト、まことに珍しい珍品ポストです。(目黒区下目黒3-22)



『権之助坂を下って、ちょっと遠出。目黒新橋から左に折れてしばらく歩く角の店。建物にはレトロな看板がベタベタに貼られている、行けばすぐにわかる店が立乃だ。コピペ』時々見かけるレトロな看板の内でも派手な展示の一軒で驚きます。こうしたレトロな看板に癒される人が多いでしょう。蔵処立乃となっていますが、軒下には、カウンター酒場Shimome 下目と書かれていました。(目黒区下目黒2-17-23)

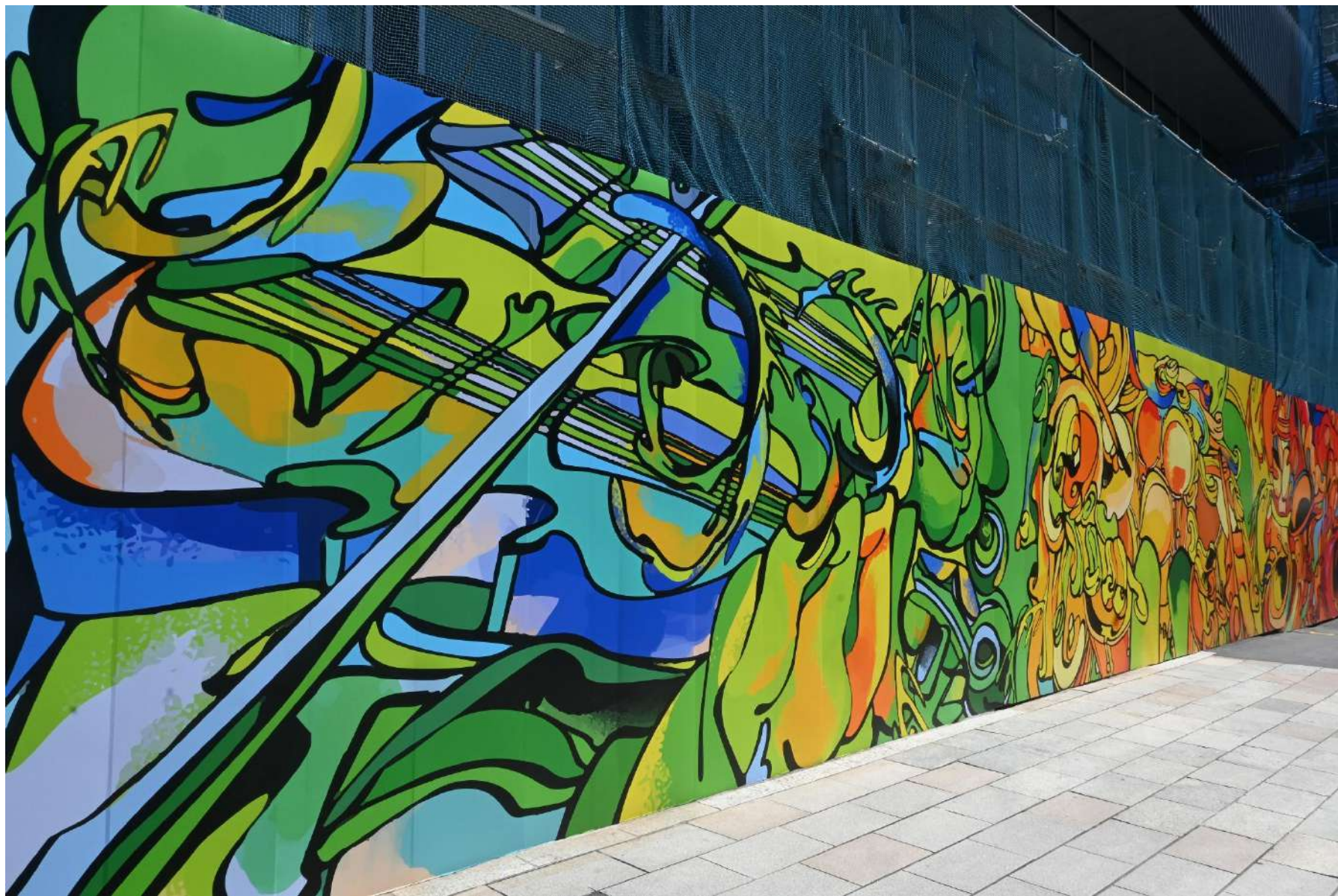


大鳥神社隣に珍しい切支丹燈籠が3基立つ大聖院があります。中学生の頃学んだ隠れキリシタンの礼拝したキリストの像と十字架を思わせる秘密めいた燈籠で他所ではあまり見かけない貴重な歴史的に文化的価値が高い燈籠です。
(目黒区下目黒3-1-3)

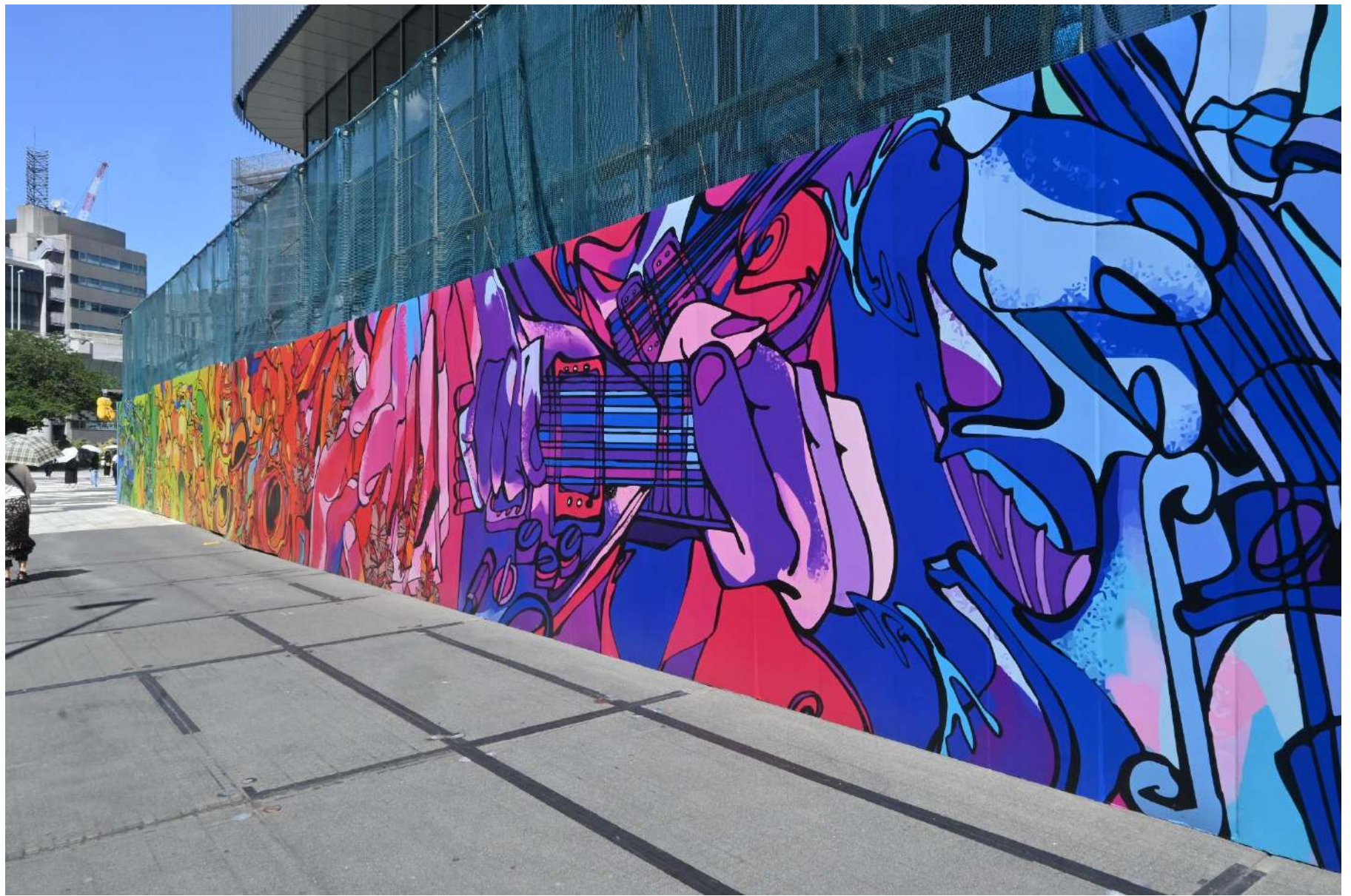




日本橋近くに、オフィス、商業施設、ホテル、居住施設、MICE施設、ビジネス支援施設などで構成する地上52階、地下5階、高さ283.96m（最高283.96m）、延べ面積374,003㎡の超高層ビルが2026年3月竣工する予定のようです。建築中の工事用仮囲いの一部が色彩豊かに輝いて居るのが見えます。（中央区日本橋1-30-32）



デジタルアーティスト ナカミツキ制作の作品で、『日本の文化の起点として人や行き交った日本橋。本作はその流れを受け継ぐ記憶や交流を、音や色、形で描いた「共鳴の風景」です。コピペ』と解説されていました。創作活動の軸は「音楽と人との対話」とも記されています。そう言えば、ヴァイオリンを弾く弦と弓、指、音が響く空間が色彩豊かに描かれています。





日本橋を歩いて居ると大きな落書きの様なイラストに出会いました。どのような目的で描いたのか判りませんが、愚図愚図散歩143に掲載した神田小川町の「東京ビエンナーレ2020/2021」に参加出品されたHogalee作画のサインが同じなので、単なる落書きではなさそうです。(中央区日本橋1-5)



何という穏やかな作品なのでしょう。丸の内ストリート ギャラリーに展示された中村 萌作「Whirling Journey 2025」



灼熱の日，
救いの冷水。



呑気に笑う布袋様。



なんて洒落た生け花なのだろう、造花でしたが。(台東区谷中3-23)



以前はもう少し紫めいた青でしたが、今日見ると青い屋根と門扉です、塗り替えたようですが、それにしても青い屋根の本堂の寺院はここ以外観た事がありません。不思議な感じがします。(谷中4-2)



何気なく陸橋を登ると、以前十条台小学校のあった場所の埋蔵文化財発掘調査の現場が目の前に展開して驚きました。かなり発掘調査は進んでいる様に見受けられます。(北区中十条1-5-6)



同じ区内に居ながら発掘調査が始まったことを全く知らず、驚きながら眺めました。





丸ビル1F広場でレゴフェスティバル ボタニカルガーデンが開催されていました。レゴは四角いブロックかと思って居ましたが、花のブロックもあり、明るい展示に驚いてしまいました。



新国際ビル1Fで実に斬新なオルタナティブG展が開催されていました。東京芸大デザイン科3年生成果展と銘打ち 芸大生の考えるGOOD DESIGN 枠にとらわれない自由な発想と新たな視点でGOOD DESIGNを提案すると書かれています。『時を纏う 衰えとされる身体の変化を、美の痕跡として肯定的に捉える。靴という対照的なものにあえて不均衡で有機的な造形を取り入れることで、整い過ぎた美に疑問を投げかけ、身体そのものを受け入れ纏う喜びを表現した。河鍋桃奈 竹野綾 コピペ』我が身を振り返り、発想の斬新さに驚きました。如何にも発想通りの作品ですが、古い靴箱から取り出したよれよれに履き崩した靴の样にも見えますが、発想の斬新さで、これからどのような作品が生まれるか、期待したいと思いました。



銀座四丁目交差点日産銀座ギャラリーのニッサンハイパーフォース。まさに夢のスーパーカーでした。



築地場外市場は人でいっぱい、並ぶ列が伸びて、通路を横切り通行止め状態。



コレイタダコウカ。



暑くて人が多くて歩くの疲れた、へトへト。









